

2025年4月7日の第1学期始業式で、私は、子どもたちに「自分から〇〇する学校」をつくりたいと話しました。

なぜ、そのような学校をつくりたいかという、昨年度末、先生方にアンケートをとると、新庄北の子どもたちの課題は、①指示待ちが多い。②粘り強さが無い。③他の人の意見や考えを受け入れる力が弱いという結果が出ました。

その結果を受けて、まずは「自分から挨拶をする学校」をつくりましょうという話をしました。自分から元気よく挨拶してくれる人は気持ち良いし、校長先生も頑張ろうという気持ちになることを話し、挨拶でみんなの気持ちが良い学校にしていこうと伝えました。すると1学期、5・6年生や委員会を中心に、私だけでなく挨拶運動をする子どもたちの姿がたくさん見られました。

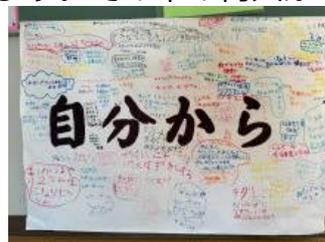
次に、委員会活動や学級活動などで「自分からアイデアを出す学校」をつくりましょうと話をしました。すると1学期、委員会で廊下や階段の真ん中にテープを貼って、右側歩行をやすくしてぶつかりにくいようにしたり、給食時間の放送で楽しいクイズや話題を放送したり、学級活動で自主学習の進め方や命を守る避難訓練のことなどを話し合ったりして、安心・安全、そして楽しい学校になるようにしようという姿がたくさん見られました。

最後に、「自分からルールやマナーを守る学校」をつくりましょうと話をしました。休み時間の過ごし方、部団登下校、放課後の遊びなど、親や先生がいないところでもルールやマナーを守り、自分や他の人の命や安全を守ってほしいことを話し、お家の方や地域の人たちから愛される学校にしてほしいと話しました。すると1学期、地域の方から、「ごみを拾っている子どもがいます。」とか、学校支援ボランティアの方が「顔を覚えてくれて子どもたちから挨拶をしてくれて嬉しい。」という声が学校に届いています。

1学期、子どもたちのそのような姿が見られるようになってきました。心から嬉しく思います。

また、昇降口には「自分から」と大きく書いた模造紙を貼り、自由に「こんな〇〇年生になりたい」ということをマジックで子どもたちは書いています。その中の何人かの書いたものを紹介すると…

- 「みんなとなかよくできる1年生になりたい。」
- 「いろんなことにチャレンジできる2年生になりたい。」
- 「1年生やみんなをまもれる3年生になりたい。」
- 「発表できる4年生になりたい。」
- 「たよりになる5年生になりたい。」
- 「1年生にやさしい6年生になる。」



というような素敵な目標を自分から書いていました。一人ひとりの力で、新庄北小学校・附属幼稚園を素敵な学校園にしてほしいと思います。

来年度、創立50周年を迎えます。卒業生、本校で勤務された教職員、地域の皆様方によって、開かれ支えられ発展してきた新庄北小学校・附属幼稚園の大切にしてきたものを、子どもたちとともに守っていくと同時に、今年度は「自分を見つめ、自ら行動する児童の育成～友達と協働して、安心・安全でよいよい学校生活～」という研究テーマで、「自主」「自律」「対話」に指導の重点を置き、個別最適・協働的な学びの実践、学習規律・規範意識の向上、縦割り班活動・委員会活動の充実、体験的活動・出前授業・ICT活用推進に力を注いでいきたいと思っています。そして、子どもたちとともに日本一楽しい学校園をつくりたいと思います。

最後に、私たち教職員一同、保育教育活動がより一層深化していくよう、チーム新北【**しん**けんに向き合い **き**ずなをふかめて **た**どりつくまで】で取り組んでいきたいと考えています。

保護者、地域の皆様におかれましては、たいへんお忙しいとは思いますが、今後とも本校園保育教育活動に、ご理解、ご協力、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。